

戸田中央ホームで連勝

女子ソフト 通算3勝4敗

女子ソフトボールのニトリJDリーグに県内から参戦する戸田中央メディックス埼玉(戸田市)の初のホームゲーム2試合が23、24日、さいたま市のレジデンシャルスタジアム大宮であった。戸田中央は連勝し、通算3勝4敗とした。

23日はNECプラットフォームフォームズ(静岡県掛川市)と対戦。三回裏に2番田島、4番数原がそれぞれ本塁打を放ち、2得点。米国出身のテラー、アレキサンダーの投手リレーで1失点で抑え、2-1の接戦を制した。24日は太陽誘電(群

馬県高崎市)と戦い、5-2で勝利した。0-2で迎えた二回裏、9番田中、1番江口、3番武富の適時打などで5得点。アレキサンダーは三回以降、安定し、最終七回まで完投した。

ホームでの2試合を勝利で終え、福田五志監督は「皆で攻撃をつなぎ、少ないチャンスをものにするという意識が勝ちにつながったと思う。応援に来てくれた多くの地元ファンの期待に応えられて良かった」と笑顔を見せた。



【NECプラットフォームズ—戸田中央】三回裏戸田中央、田島、数原の2本塁打で2点を挙げ、盛り上がる戸田中央の選手たち—さいたま市のレジデンシャルスタジアム大宮で、チーム提供

両日とも、さいたま市立宮前中学校ソフトボール部員などソフトボールに取り組んでいる女子中学生らが始球式を行い、球場を盛り上げた。【坂本高志】